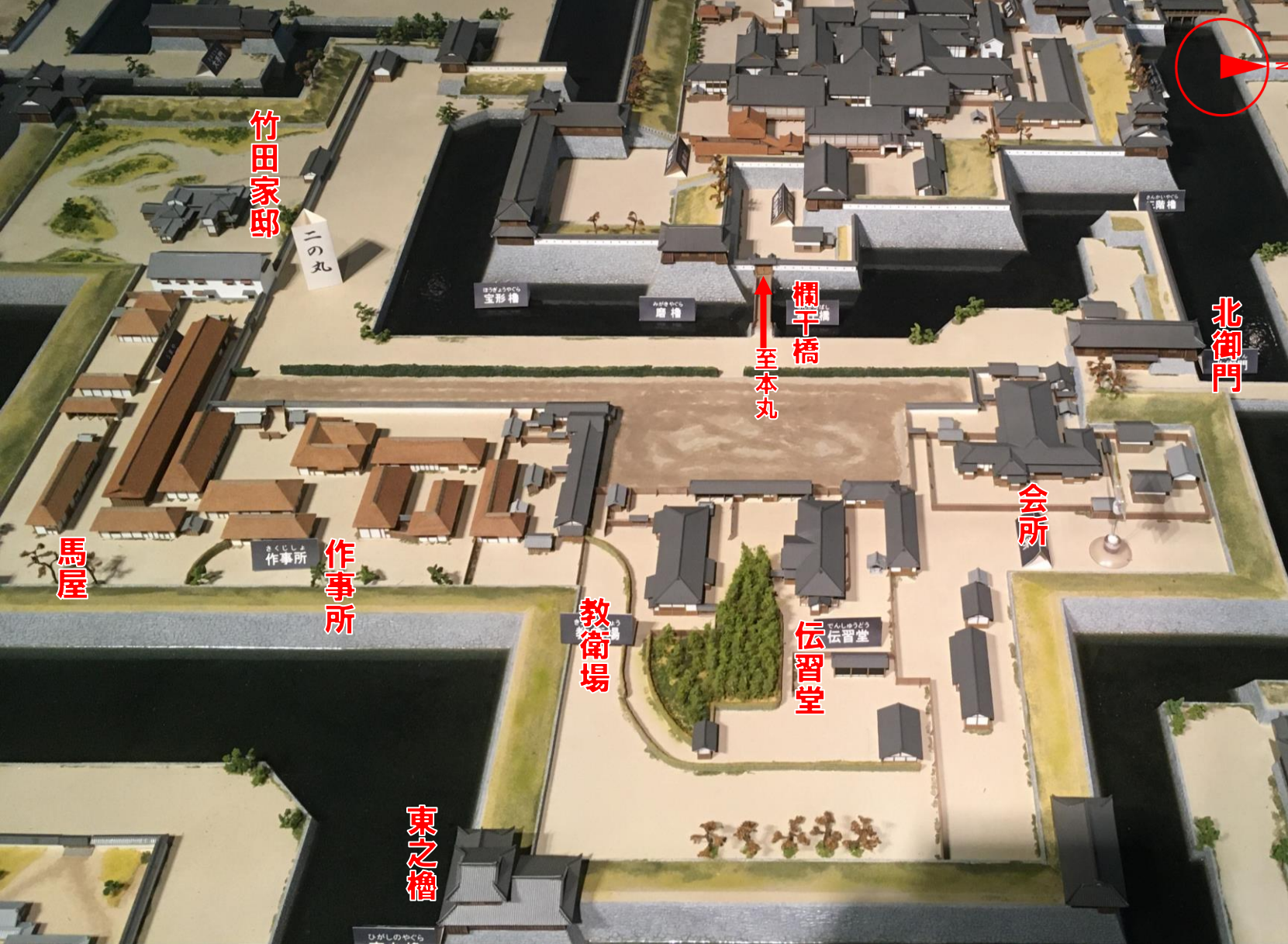


# 二の丸



二の丸には、松井家の役場である<sup>かいしよ</sup>会所、学問や武芸を習う<sup>でんしゅうどう きょうえいじょう さくじしよ</sup>伝習堂と<sup>か</sup>教衛場、<sup>うまや</sup>作事所や<sup>らんかん</sup>馬屋がありました。また、本丸に入るためには二の丸と本丸の間に架けられた<sup>ばし</sup>欄干橋を通る必要がありました。





きょうえいじょう でんしゅうどう  
文武の教習所 教衛場・伝習堂

ほうれき まついとよゆき にしがきろあん すがむらなんけん けんぎ  
宝暦7年（1757）、八代城主松井豊之は、家臣の西垣露庵と菅村南礪の建議により  
武家の子弟の文武教習所として学問の場である伝習堂と武術稽古の場である教衛場  
でんしゅうどう きょうえいじょう  
を設置しました。





かいしょ  
役人たちの仕事場 会所

会所は、松井家の役場で、現在の八代市役所が建っているの北西隅にありました。





## さくじしょ 作事所

城内の建物などの修理を担う場所です。<sup>かとうまさかた</sup>加藤正方のころの絵図「<sup>やつしろまちえず</sup>八代町絵図」（熊本県立図書館所蔵）には「大工所」と記されており、江戸時代を通じて城内の修理を担っていたと考えられます。





熊本総合病院駐車場南側に残る  
二の丸の石垣

うまや  
**馬屋**

馬を飼育していた場所です。かとうまさかた やつしろまちえず  
の絵図「八代町絵図」（熊本  
おうまや  
県立図書館所蔵）にも同じ場所に「御馬や」（御馬屋）の記述が見られ、八  
代城の築城当初からこの場所が馬屋として機能していたことがわかります。  
現在、熊本総合病院駐車場に石垣の一部が残っています。





まついけ ひつとうがろう たけだけてい  
**松井家の筆頭家老 竹田家邸**

たけだけ やつしろじょうしゅ しょうほう  
竹田家は八代城主・松井家の筆頭家老をつとめた家。正保3年（1646）に松井家が  
八代城主になると、竹田家も松井家に従って八代に移り住みました。その屋敷は、文  
か ぶん ぶん  
化8年（1811）の「やつしろじょうかくぜんず八代城郭全図」によると二の丸の南部にありました。